



国土交通省出雲河川事務所からのお知らせ

引き続き節水にご協力をお願いします ～ 斐伊川では第一次渇水調整を続けます ～

斐伊川流域においては、7月の梅雨明け以降降雨が少なく、斐伊川は渇水傾向にあり、8月4日から第一次渇水調整を実施しています。

渇水調整開始以降も降雨が殆どなく、上流の尾原ダムの貯水位（※1）も低下が続いています。そのため斐伊川渇水調整協議会（※2）において、各利水者との合意により、別紙の内容のとおり第一次渇水調整（継続）及び第二次渇水調整を決定しました。

斐伊川流域の皆様には、引き続き節水へのご協力をお願いいたします。

- ※1 尾原ダムの洪水期（6月11日～10月31日）における、平常時の満水位は標高195.5mです。8月9日0時現在の貯水位は190.3mとなっており、日々低下している状況です。
- ※2 斐伊川渇水調整協議会は、斐伊川の水を利用している農業用水、水道水、水力発電の関係者と河川管理者（国、県）が集まって、水を有効活用することについて話し合う協議会です。

■これまでの渇水調整の経緯

第一次渇水調整 8月4日16時から出雲市上島地点の確保流量を10.6m³/s、
〔尾原ダム貯水率〕 雲南市木次地点の確保流量を4.2m³/s（正常流量の約70%）
75～65% とした。

//// //// 国土交通省のウェブサイトをご覧ください //// ////

国土交通省のウェブサイトにて、河川水位やダム貯水率などの情報を提供しています。

「川の防災情報：<http://www.river.go.jp/87.html>」

問 い 合 わ せ 先

国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所
電話 0853-21-1850（代表）

副 所 長 竹田 幸詞 たけだ こうじ （内線）206
占用調整課長 上平 修 かんびら おさむ （内線）341

第一次湧水調整【継続】

■ 確保流量

各地点の確保流量を下表のとおり継続するとともに、尾原ダムの貯留制限についても引き続き解除する。

湧水調整	尾原ダム 貯水率	上島地点・木次地点の確保流量		摘 要
第一次 【継続】	75%～ <u>55%</u>	上島地点	10.6 m ³ /s (正常流量 15.2 m ³ /s の約 70%)	洪水期・ かんがい期
		木次地点	4.2 m ³ /s (正常流量 6.0 m ³ /s の約 70%)	

※1. 尾原ダムの貯留制限 上島地点 (21.0 m³/s)、尾原ダム地点 (1.2 m³/s)

※2. 正常流量

出雲市上島地点	しろかき期 (5/1～6/20)	16.3 m ³ /s
	かんがい期 (3/21～4/30 及び 6/21～9/5)	15.2 m ³ /s
	非かんがい期 (9/6～3/20)	7.5 m ³ /s
雲南市木次地点	通年	6.0 m ³ /s

■ 発電ダム等との連携・協力 継続

斐伊川の確保流量の保持、尾原ダムの貯水池運用を効率的、効果的に行うために、発電ダム等と連携・協力を図る。

- ▶ 尾原ダム、三成ダム、阿井川ダム（斐伊川取水堰を含む）は効率的に調整後の確保流量が維持できるよう、連携・協力する。
- ▶ 斐伊川取水堰から尾原ダムへの放流を必要に応じて 1.0 m³/s 追加する。
- ▶ ダムからの放流が無効放流とならないように努める。
- ▶ 効率的に降雨をダムに貯留できるように努める。

第二次渇水調整

■ 確保流量

尾原ダム貯水率に応じ、各地点の確保流量を下表のとおり変更する。

なお、尾原ダムの貯留制限解除は継続する。

渇水調整	尾原ダム貯水率	上島地点・木次地点の確保流量		摘要
第二次	55%～45%	上島地点	9.1 m ³ /s (正常流量 15.2 m ³ /s の約 60%)	洪水期・かんがい期
		木次地点	3.6 m ³ /s (正常流量 6.0 m ³ /s の約 60%)	

■ 発電ダム等との連携・協力 継続

第一次渇水調整と同様に、発電ダム等との連携・協力を継続する。